



**N.S.ニュース速報A**

**NSDAP/AO : PO Box 6414**

**Lincoln NE 68506 USA**

**www.nsdapao.org**

#1092

17.02.2024 (135)

ミヒャエル・キューネン (Michael Kühnen)

## 第二の革命

### 第一巻：信仰と闘争

#### 第5部

このような国家共同体はまだ夢物語ですが、人々は脅威的な展開に気づきつつあるのです。ブルジョワの論客たちでさえ、すでに東西対立は南北対立、つまり白人世界と有色人種世界の決定的な戦いの後塵を拝していると語っている。そして、これが戦いの出発点なのである：

ヨーロッパ、アメリカ、オーストラリア、そしてアフリカ南部と、アーリア人はこの世界で最も豊かな国々を支配しています。ここには人類の鼓動が感じられ、ここには技術と科学の進歩の発祥地があります。

アジアとアフリカの有色人種が、目的のために同盟を結んだのである。アジア人が人種的に劣る黒人を何世紀にもわたって侮蔑してきた結果、彼らは今、国連で共通の戦線を形成しています。この同盟は、まだ脆弱である。個々の国の問題はあまりにも異なっており、地域の緊張はあまりにも大きい：

しかし、有色人種は、その集団の力がいかに巨大なものであるかを理解した。この初期の状況は安定しておらず、個々の人種の生息域の境界は正確に定義されていない。この数十年の発展の背後には、正確な計画があるように思われる：

白人の永遠の悪い良心への訴えは、アジアとアフリカの支配をほとんど戦わずにあきらめさせた。悪い良心は今、白人諸国を、発展途上国の要求にますます屈し、脅迫の前にひざまづくように導いている；悪い良心は、アフリカ南部の人種の兄弟たちの闘いに背を向け、嵐に見舞われながらも安全な島のように、私たちの生息地の核心部に退却し、哀れな声で少しの平和と静けさを懇願するように仕向けるだろう。しかし、この島は私たちの想像の中にしか存在しない。

増加する混血と、すべての発展途上国の統一された利益への巧みなアピールは、先進国が白人のために救う代わりに不幸に墮落させることを許してきた南・中米を、我々から奪い去る恐れがある。北米では、感傷的な白人左翼リベラルと民主党が、人種に対する裏切り者として、混血と急速に増加する黒人の平等な権利を主張している。白人の力と強さが最も顕著なこの地でさえ、わが民族はすでに致命的な脅威にさらされている。文化のない寄せ集めの民族が出現し、それらはもはやアーリア人の運命に何の愛着も抱かないだろう。

そのうちの1つ、NSDAP（外国人組織）は、ドイツで国家社会主義を復活させたという功績があります。白人の故郷であるヨーロッパは、まだ内部から脅かされているようには見えない。少なくともドイツ人の多くは、街の風景に黒人、アジア人、トルコ人、アラブ人がたくさんいることに気づいても、個々の現象を信じている。しかし、イギリスとフランスではすでに人種間の暴動が起きており、他の国もそれに続くだろう。そして、何度も何度も同じ絵が描かれる：

最初は、外来人種的要素の流入を黙認する。そして、それが十分な数になると、「マイノリティ問題」を発見し、その人たちの不利益や差別を憂い、市民権の平等や人種的混合を要求する。

最初は南アフリカと南米で、その後北米で、今日はすでにイギリスとフランスで、明日はおそらく連邦共和国で、この現象がいたるところで観察されます。アーリア人種を世界から消滅させるという狂気の計画が、ここで働いているようだ。この計画の概要は明らかであり、その背後には誰がいるのかもわかっているはずであり、これに対する防御はすべての白人の共通の課題である。

どうすればいいのでしょうか？

私たちは今、岐路に立たされています：

屈服して徐々に没落していく快適な道を選ぶか、闘争への危険な道を選ぶか、どちらかです。私たち国家社会主義者は、闘争の道を選びました！世界中の何十万人もの人種意識の高い白人と一緒に。私たちに告白するのは難しいことです：

私たちには、この世界のどこにも、富はありません：

迫害、牢獄、死が待ち受けていますが、私たちは息子たちに対する責任感に駆られ、自分の義務を認識し、義務を果たします！

多くの人は賛同してくれるが、喧嘩するのはほんのわずかだ。結局のところ、自分自身を漂わせることはとても快適で簡単なことなのです。人生はとても美しく、誰が中流階級の存在を失いたくないと思うだろうか。そして、アフリカ南部の白人は黒人大陸には属さない、人種の混血は自然なことだ（自分の娘が.....ではなく、最悪の事態を恐れる必要はない、ドイツにはまだそんなに黒人はいない）、世界の富はもっと分配されるべきだ、と言うと、彼らは首を傾げる。そうだ」と言うのは簡単だが、自分の意見を持ち、それを主張するのはとても難しいことである。しかし、基本的にはとてもシンプルなことです。もし、みんなのために十分なものがないのであれば（そしてそれが現状なのです）、同意しなければなりませんし、それが不可能であれば、戦わなければならないのです。

もし我々が有色人種の要求に応え始めるとしたら、それは我々にとっての工業時代の終焉を意味し、貧困と野蛮への逆戻りを意味する。そうはつき

り言うことが、まだ疑うことを知らない人々に対する私たちの義務なのです。植民地時代、世界帝国の時代は終わったのだ。しかし、原材料と産業、農民と科学が等しく豊かな生活空間を確保する必要性、この必要性は依然として残っている。アーリア世界は、原料鉱床の支配権を取り戻さなければならぬ！

多くの読者が、私の発言をあまりにドラマチックだと思われることは承知しています。アーリア人の国家共同体の要求から生じる問題や将来への希望は、あまりにも理論的で、あまりにも遠くにあるように思われます。だからこそ私は、降伏と闘争という選択肢を、もう一度詳しく紹介したいと思うのです。私は、この提示が原始的で概略的なものでしかないことを知っています。それは、正確な予測ではなく、現実の発展路線を明らかにするものです：

### サレンダーです：

欧米の民主主義国家は、危機に瀕しているにもかかわらず、権力を維持し続けている。フランスとイギリスの国内政治は混乱し、従来の政党制度は崩壊しつつあり、有色人種の移民が絶えず流入しているため、大都市では定期的に人種暴動が起きている。一方、ドイツ連邦共和国は、海外からの圧力と国内のオピニオンメーカーからの圧力により、外国人に関する法律を緩和した。

こうして、ドイツ連邦共和国は人気のある移民国家となり、規制によって雪崩を打って混血結婚が行われるようになった。外国人労働者には選挙権が与えられ、ドイツ人は突然トルコ人市長が誕生しても何の問題もないと考えている。大都市ではスラム街が形成され、周囲の豊かさに目を奪われた新しいプロレタリアートが誕生した。彼らは外国人労働者の第2世代であり、ホームレスで根無し草であり、自分たちの運命に不満を持ち、犯罪的な若者ギャングを結成する。ドイツの原住民は、手入れの行き届いた郊外に引きこもり、都心部は外国人に任せている。

米国では比較的平和が続き、黒人の完全な平等の要求がほぼ満たされた。

アメリカ人が大統領になるには、黒人の副大統領がいなければ不可能になった。ある時、大統領が暗殺未遂に遭う！初めて有色人種が世界一の権力者になったのである！

一方、公正な世界経済秩序は、発展途上国と先進国の間で開かれる常設会議で模索されつつある。西側諸国の責任ある政治家たちは、絶望的な状況の中で、アジア人やアフリカ人の過度な要求をかわし、自分たちの要求が世界経済の崩壊をもたらすことを理解した穏健派の指導者を探し、最終的に見つけ出す。妥協はなされるが、穏健派はモスクワや北京で訓練された革命家たちによって支持される。

アメリカの黒人大統領は、自国の経済に大きな打撃を与えながらも、発展途上国を満足させるような解決策を、不承不承のヨーロッパ諸国に受け入れさせることに成功する。新しい世界経済秩序は、ヨーロッパ諸国に大量の失業と内乱をもたらす。政府は崩壊し、新たな共産主義政権が誕生する。他の国では、軍隊がクーデターを起こし、外国の圧力に抵抗して、対策を覆す。これに対して、発展途上国は、何の対策も講じないボイコット策を実施する。-アウト

今はまだ遠く、想像もつかないことばかりなのだろうか。SFだけなのか？このような、あるいは似たような恐怖が、私たちの未来である可能性が非常に高いことは、誰もが知っていると思います。

### 奮闘してください：

経済的な困難が増すにつれ、ヨーロッパ諸国では共産主義や「ネオナチ」の革命運動が活発化する。民主主義体制に不満を持ち、共産主義への恐怖に満ちた民衆は、強者を求めるようになる。

ある国、おそらくイタリアかイギリスで、民族運動、おそらくは国家社会主義運動が勝利し、その国家が必然的に陥った孤立を打破するために、今やあらゆる場所で同様のグループを支援しています。やがて、ヨーロッパでは、第二次世界大戦ですでに予見された新しい秩序が確立される。ヨーロッパの小国は、必然的に、ヨーロッパの唯一の大国である連邦共和国へ

と自らを向かわせる。有色人種の少数民族を送還するプログラムが開発され、ドイツは1年以内にすべての外国人労働者を追い出す。ドイツの指導の下で緊密に協力するようになったヨーロッパ諸国は、アメリカ至上主義から脱却する。

原材料の供給を確保するために、巧みな外交政策は、伝統的なドイツ・アラブ・ドイツ・ペルシャの友好関係を利用します。

ドイツとヨーロッパの寛大な援助は、イランを安定させ、反イスラエル政策は、アラブ民族の心を掴みます。西ヨーロッパは、戦争に持ち込まれることなく、鉄のカーテンの向こうで民族主義の反乱運動を促進し、ボルシェビズムによって抑圧された人民の自由のための民族闘争を支援し、それによってドイツが統一を取り戻すという歴史的状況を可能にしている。

ヨーロッパが成功裏に例証したアーリア人の共同体という考え方は、オーストラリアでそうであるように、北米でも新しい友人を獲得しているのです。この共同体は、長い間、白人のリーダーシップの下で、この危機に瀕した惑星に途方もない未来を切り開くだろう。

これが第3の千年紀への我々の道であり、これが自然な世界秩序に対する我々の考えである。我々の意志の人種的基礎と我々の国民の利益は、かつての民族革命を世界革命にすることを要求する！それは、ローマ帝国の後継者として、西ヨーロッパを統一し、アーリア人種の中核的民族として、アジアに対する白人種の盾として東方を監視し続けることである！

## ほうとう

国家社会主義は1945年に跡形もなく消滅したと、ずっと主張されてきた。これは民主主義者の嘘である。NSDAPは解散し、その指導者は逮捕され、あるいは殺害され、ドイツ国民全体が歴史上前例のない大規模な洗脳にさらされていたのである。このような状況下で、ドイツの自由運動がいかに早く組織化され、絶えず名前を変えながら、戦後の政治に介入していったかは驚くべきことである。

1949年に社会主義帝国党（SRP）が結成されるやいなや、政党設立のための連合国の認可要件が解除された。SRPは、西ドイツ連邦共和国に旋風を巻き起こした：

地域協会の設立、大規模な集会、選挙での成功が次々に行われた。社会主義帝国党は、アドルフ・ヒトラーの歴史的真相を宣言し、民族社会主義、全ドイツ人の民族共同体、ドイツ帝国を公言した。この運動はすでに最初の市長を輩出し、ニーダーザクセン州では政府への参加について交渉が行われていた。

SRPは、世界大戦の敗戦後でさえ、ドイツ国民がまだ鼓舞することができることを証明した。初期の再生の先頭に立ったのは、旧党の同志ドゥリス博士であり、とりわけ、1944年7月20日に反動将校によるクーデター未遂を打ち破ったレマー将軍であった。1944年7月20日、彼は反動的な将校によるクーデター未遂を打ち破り、こうして歴史の目からドイツ国防軍の名誉を守ったのである。党は州選挙で最大12%の票を獲得し、地方選挙ではさらに多くの票を獲得した。しかし、民主主義と民衆支配を混同するのは間違いであることが、今改めて示されたのである：

民意を認めず、社会主義帝国党の台頭を諦めることなく、民主党は1953年に禁止令を押し通した。

SRPのメンバーは、最初のデナズィフィケーションの波が収まってからまだ5年も経っていないのに、再び迫害にさらされることになった。最も忠実な者でさえ、次第に勇気と自信を失っていった。しかし、民族社会主義の精神は生きていた。それは、旧ヴァッフェン-SS

（HIAG）の互助会の一部や、実際に反動政党（**Deutsche Reichspartei**、後の**Nationaldemokratische Partei Deutschlands**）内の小グループに再び見られ、火を扱う革命組織（例えば、後に禁止されたがかなり成功した**Bund Nationaler Studenten**、あるいは同じく禁止の**Freikorps Deutschland**）も多数存在したのである。

しかし、成功は不可能なままでした。常に新しい禁止令や再教育の波に直面する中で、政治的戦略を練ることができる人はいませんでした。残されたのは、小さな共同体の中で思想を守り、同志をつなぎとめ、より良い時代を待つという仕事だけだった。人々は、以前の国家社会主義者の差別の中で十分に戦ってきたブルジョア的存在を、再び危険にさらしたくはなかったのである。まず、旗を引き継ぎ、それを未来に運ぶ準備ができていない新しい世代が育っていなければならなかった。

1968年、大学院のエンジニアであったヴォルフ・ディーター・エカートは、ドイツ国防軍（**Bund Deutscher Nationalsozialisten: BDNS**）を設立した。それは生意気なフツサールの行為であり、ガッツがあり、戦術的なスキルがないわけではない。同志エッカートは、歴史に残るユニークな功績を残した：

国家社会主義を公然と告白したことで、彼は長い夜に終止符を打ち、死んだと思われていた思想が現代の政治の舞台に華々しく戻ってくるきっかけを与えた。新しく灯された炎は、それ以来、消えることはない！

エカートは、1967年には、多くの国家社会主義者が愛読する反動的な雑誌『ナショナル・ツァイトウング』に広告を掲載し、反コミンテルン同盟の志望者を募り、そこからBDNSが誕生した。しかし、ヴォルフ・ディーター・エカートは、ドイツの自由運動の再生に貢献した功績は大きいですが、政治家としては失敗した。BDNSはハンブルグを越えて大きく発展する機会を得ることなく、正式な設立からわずか数週間で禁止された。

しかし、炎はすでに消えないものでした。若者たち、革命家たちは、腐敗した体制と闘うのに左翼である必要はないことを発見したのです。1969年には、若い国家社会主義者たちが、成功した国家保守党であるNPDを多大な努力で支えていたのに対し、1970/71年には、違った響きがあった：



"ブラントを壁に!"、"人民の裏切り者に力を-民族の自由闘争"と、  
ヴェルツブルクとカッセルで何千人もの群衆に要求しました。

ウィダースタンドの行動は、初歩的な力によって進行した。最初は数百人、次に数千人が、大きなWと書かれた旗の下に集まった。アクション・ウィダースタンドは、ドイツ帝国の4分の1の領有権を手放したブラント政権の東方との犯罪条約に反対する闘いで団結したすべての民族勢力（穏健な反動主義者から確信的な国家社会主義者に至る）の大集結運動である。

しかし、行動Wは、若い革命家たちによって担われた。彼らは、夕方、松明を持ってドイツの主要都市を行進し、古い国家社会主義者の戦闘歌の曲に合わせて詩を歌ったとき、初めて自分たちの前に国家の目覚めを見たと思ったのである：

**RESISTANCE（抵抗）が合言葉です、**  
**RESISTANCE（抵抗）は私たちの義務です。**  
ゾーンの壁を取り壊す、  
ブラント政権を打倒する！



**NS KAMPFRUF**  
KAMPFSPRUF DER NATIONALSOZIALISTISCHEN DEUTSCHEN ARBEITERPARTEI AUSLANDS- UND AUFFBAUORGANISATION

September 1934      Ausgabe 1273      26. April 2017 02.00

**Der Kampf geht weiter !**

Wahing Jahre nach der Kapitulation der Wehrmacht am 8. Mai 1945 ist die nationalsozialistische Bewegung stärker als je zuvor in der Nachkriegszeit. Und zwar nicht nur in Deutschland, sondern auf globaler Ebene!

Mitglieder von Massenmord, Verbrechen, Verfolgung und Verdrängung haben nicht abgerufen, das Kreuz der goldenen Aue unseres hoch geliebten Führers Adolf Hitler zu zerstören.

Alle Nationalsozialisten sind weniger gefährliche Täter- und Kampfgemeinschaften Schicksal als Schicksal im Kampf um die Erlösung unserer weißen Völker. Die Bewegung ist zwar stärker geworden, aber die Gefahr des kollektiven Völkermord ist keine noch viel größer als in der Vergangenheit.

Die vornehmste Aufgabe ist es, den Völkern - gegen alle weißen Völker (V) - zu zeigen, dass Mittel und Erbschaften, Überlebende und Kampfgemeinschaften.

Ob "legal" oder "illegal", ob im Wahlkampf oder im Massenmord, ob im Propagandakrieg bzw. auf dem Schlachtfeld anderer Art. Jeder Nationalsozialist hat seine Pflicht!

Hail Hitler!  
Gottard Lauth



**TROTZ VERBOT NICHT TOT!**



**N.S.ニュース速報A**  
[www.nsdapao.org](http://www.nsdapao.org)  
#1005      19.06.2022 (133)

**NSDAP/AO: PO Box 6414 - Lincoln NE 68506 - USA**

フロントレポート  
モリーへのインタビュー  
第3部

NSK: 現在のプロジェクトは、明らかに哲学的で、アートに関連したものです。

このような活動が政治に与える影響について、あなたの考えをお聞かせください。

モリーです。フォトギャラリーの更新は続けていますが、主に Adolf Hitler and the Army of Mankind ([www.movingtheancient.com/truth.htm](http://www.movingtheancient.com/truth.htm))に集中して取り組んでいます。現在2ページですが、まだまだやるべきことがたくさんあります。第二次世界大戦の戦後は、まさに情報の増量期です。1つのことについて情報を探しても、さらに2つほど調べたいことが出てくる。まるで、埋も




**the NEW ORDER**  
Number 176 (132)      Founded 1978      April 26, 2021 (132)

**The Fight Goes On !**

Seventy years after the capitulation of the Wehrmacht on May 8, 1945, the postwar National Socialist movement is stronger than ever not only in Germany, but throughout Europe.

Decades of mass murder, expulsion, persecution, and defacement have not sufficed to destroy the seed of the brilliant idea of our much loved Führer Adolf Hitler.

All National Socialists and other racially-aware conservatives and racial kinemen fight side by side for the preservation of our White folk.

The movement has indeed become stronger, but the danger of biological folk death is also much greater today than in the past.

The desperate enemy is in the process of committing genocide against all White folk. His means are non-White immigration, culture dilution, and race-mixing.

Whether "legal" or "illegal", whether in election halls or street battles, whether armed with propaganda material or on a battlefield of a different kind, every National Socialist must do his duty!

Hail Hitler!  
Gottard Lauth



**TROTZ VERBOT NICHT TOT!**

# NSDAP/AOは世界最大です 国家社会主義プロパガンダサプライヤー！

多くの言語での印刷物およびオンライン定期刊行物  
多くの言語の何百冊もの本  
多くの言語の何百ものウェブサイト



**BOOKS - Translated from the Third Reich Originals!**  
[www.third-reich-books.com](http://www.third-reich-books.com)



**NSDAP/AO**  
**Fight Back!**



[nsdapao.org](http://nsdapao.org)  
Contact us to find out how YOU can help!